

月刊



平成25年8月1日発行 通巻211号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

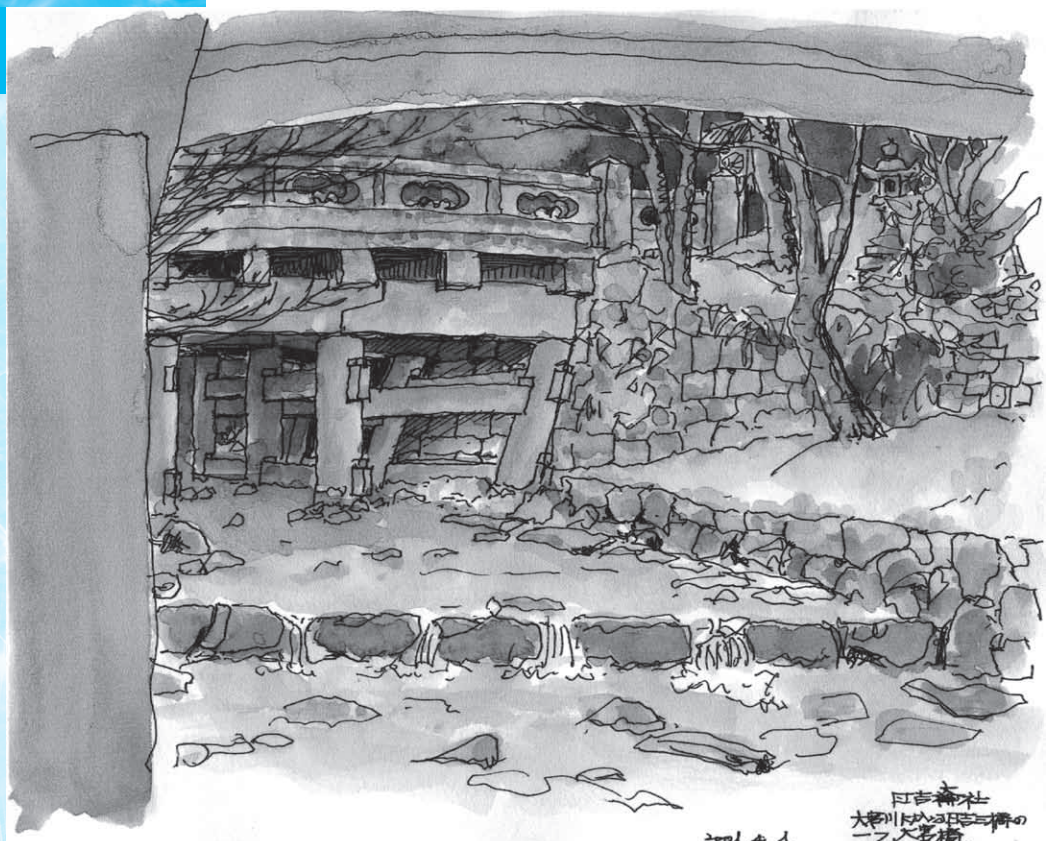
公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・新任の挨拶 2
- ・退任の挨拶 2~3
- ・まちづくり委員会
第7回「建築士の日」フェスティバル
事業報告 3
- ・アイ・湖国びと 4
- ・第9回木の建築賞 5
- ・国土交通大臣表彰受章報告 6
- ・女性委員会
2013びわこペーロン大会
応援お願いします!
- ・女性委員会
平成25年度 第23回全国女性
建築士連絡協議会 参加報告 .. 6~7
- ・訃報 8
- ・国交省よりお知らせ
- ・地域貢献活動センター委員会
建築士が参画する 地域貢献活動助成金
申請グループ募集のお知らせ
- ・8月の暦
- ・足のむくま 近江再発見 第11回



日吉大社 大宮橋

日吉大社日吉三橋と呼ばれる大宮川に架けられている橋の一つ。織豊時代の天正年間(1573~92)に豊臣秀吉が寄進したと伝えられている。当初は木橋であったが寛文9年(1669年)、花崗岩製の石橋に架け替えられた。石橋ではあるが、大変な技巧を凝らしたつくりで大正6年(1917)8月に国の指定重要文化財に指定。石橋と苔と木々の織り成すコントラストが大変美しい。(最寄り駅:京阪電気鉄道 大津線 坂本駅)

新任の挨拶



甲賀地区 委員長 竹田 久志

このたび、大角地区代表の後を引き継ぎ、甲賀地区及び甲賀地域会代表に就かせて頂きました。私はもとより地区代表となるような人格も技量も持ち合わせておりませんが、会員の皆様とともに地区・地域会の活動に頑張りたいと思います。

甲賀地区は歴史的・文化的資産に恵まれている地域であります、また日本を代表する焼き物の町「信楽」には全国各地より多くの人々が訪れるとともに、全国に芸術に関する情報発信がなされています。私たち甲賀地区の建築士もこの恵まれた地域で活躍できることを誇りとし、日々精進して行ければと思います。

残念ながら地区内の全建築士が建築士会会員では有りませんが、会員建築士が相互に情報交換し結束して社会に貢献できるような地区・地域会となる事を目指して活動していきます。



湖東地区 委員長 木下幸玉

今年度より湖東地区委員長を務めます木下幸玉です。

湖東地区では、これまで務めてこられた地区長をはじめ役員の方々の献身的な活動を通して、会員相互の懇親を深め、建築士としての資質の向上、人材の育成に真摯に取り組んでこられました。その成果にもより多くの若い方達が青年委員会にも所属し、その若さと柔軟な発想を生かしながら滋賀県建築士会全体の発展の為に貢献して頂いております。

これからも引き続き、歴代地区長や諸先輩方のご指導を仰ぎながら、若い方達の知恵を取入れ【魅力的で価値ある湖東地区】を目指して取り組むことで会員増強にも繋げ、地域にも貢献できるよう努めたいと思っております。会員の皆様方のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い致します。



湖西滋賀地区 委員長 坂田 徳一

この度仁波委員長より湖西滋賀地区委員長の重責を引き継ぎ公益としての使命と責任を感じております。旧志賀町堅田町の地域が地区となるこの地は、雄大な比良山系の麓、白砂青松の景観と自然 浮御堂や小野神社等に象徴される歴史と文化に彩られた地域です。また近年は湖西線と湖西自動車道の開通により宅造開発も進み人口も増加をし大学も出来るなど発展をしています。そのような地域性を活かした建築士会の活動が、会員はもとより市民の方々にお役にたてる運営を目指してまいりますのでご指導のほどよろしくお願いたします。

退任の挨拶



建築士会副会長退任にあたりまして… 小倉 善紘

先ず、私を8年間も副会長として在席させていただきました事を、会長始め理事の皆様や会員の皆様に心よりお礼申し上げる次第でございます。

平成23年8月頃の何かの会食あとだったと思いますが、当時の千葉名誉会長に、私も今期一杯で引退させてもらいたいので、宜しくおとり諮らいの程をお願いしておりました。理由といたしましては、理事会や、各イベントに於きましても、若い人について行く事が精神的にも、身体的にも辛くなってきたからでございます。

実を申しますと、私は建築士会の本部経験は殆どありませんでした（支部長時ぐらいのもの）。そして平成17年に当時千葉会長の各支部から副会長をというお考えの元候補の1人として1本吊りされてしまったのが副会長職の始まりでした。

しばらく副会長としての業務を少し様子見させていただき、与えられた仕事をこなしてまいりました。ところがその後建設会社の会員がまとめて退会していく現象が出てまいりました。全国的に建設業の景気が悪くなり、今迄社員の会費を会社がまとめて面倒みてくれていたのが、経費節減のあおりを受け一番にカットされた事が原因でした。次に工務店の個人経営者（主に大工さん）が仕事がないと他の事に職変えされたことでした。

もう一点建設業法により、建築施工管理技士という技術検定証が出てきた事です。これで建設業者は設計部門がない限り、建築士が要らなくなった、一級建築施工管理技士でこと足ります。建設業法上はそれで良いという事になってしまいました。

これではいかん、何とか退会者を止める様にと、一時期退会者に慰留を進めたのですが、経済的な理由を述べられると、返す言葉は何もありませんでした。会員増強の担当として何の成果も出せず、本当に申し訳なく思っております。

今後の建築士について、設計事務所だけの建築士ではおもしろくない。我々が建築士会に入会した当時は、建築業界で仕事をする者としてのステータス（社会的地位）と考えていました。これからの建設業に従事する

人も、社会に認めてもらえる様 誇り高き建築士をめざさなければなりません、そして、その集いが建築士会です。

今後においても仕事が減少するだろうが、建築がなくなる訳ではありません。

後輩達が建築士として、力一杯仕事ができる様に場所を造りましょう。その為に建築士会として地域会が存在しています。

まず近い場所から充実した集りにしていく事が先決事項ではないでしょうか、陰ながら地域会に力を注ぎたいと考えています。

最後に理事の皆様せめて単年度取支トントンになる様努力してください宜しくお願いします。

永い間ありがとうございました。



湖東地区委員会委員長退任ご挨拶 矢場 義章

平成21年度支部総会で支部長の大役を拝命し、2期4年間務めさせて頂きました。平成24年度の滋賀県建築士会の公益社団法人化に伴う支部組織の改変に付きましては、支部会員ならびに支部役員の皆様のご理解、ご支援があればこそと感謝しております。本部と支部、会員階層のつなぎ役として十分な結果を出すことが出来ませんでした。支えて頂きました支部役員、本会役員の皆様はこの場をお借りし、お礼を申し上げ、退任の挨拶にさせて頂きたいと思ひます。ありがとうございました。



松井 俊郎

平成23、24年度の青年委員長を清水前委員長から引き継ぎ、2年間委員長をさせて頂きました。無事委員長を務められたのも、皆様のご協力、ご指導のおかげだと感謝しております。

あーき塾の開催ではスカイツリーの構造設計の講演や実際にスカイツリーの見学もできました。その他色々な講習会も開催できました。また琵琶湖ペーロンにおいては近畿各県の青年層、近建女の参加もあり100名を超え大変盛大に行うことができました。対外活動として大原小学校の総合学習、そして初めての試みで大学生たちと一緒に古民家再生ワークショップも行うことができました。

青年委員長としての2年間では大変貴重な経験をさせて頂き、またすばらしい仲間にも恵まれたことを感謝しております。2年間本当にありがとうございました。

まちづくり委員会

第7回「建築士の日」フェスティバル 事業報告

開催日時：平成25年6月29日(土) AM10:00~PM12:00

開催場所：平和堂(アルプラザ草津) JR草津駅西側

今年度の「建築士フェスティバル」はアルプラザ草津にて開催しました。

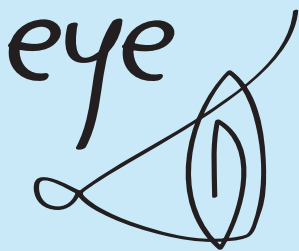
公益社団法人滋賀県建築士会の存在や建築士の役割を広く県民の方にPRし、私たち建築士をもっと身近に感じていただくために、建築士会「うちわ」1,200枚、建築士会ポケットティッシュ、女性委員会広報パンフを保証機構ポケットティッシュとともに配布しました。

建築相談コーナーを設けて、相談受付も行いました。

会員多数のご協力と大変好評であったことにより、用意した配布物は早々と配布終了となり、とても活気のある事業となりました。

今後も県内各地をくまなく回り、「建築士会」そして「建築士」をアピールしていきます。





— アイ・湖国びとの愛情視線 —

照明デザイナー
第17回 村井 賢治さん

空気に色をつける照明



むらい けんじ
村井 賢治さん

1978年東近江市生まれ。銅製照明器具の製造、販売するアトリエ キーメンを主宰。3児の父であり子守をしながら店番をすることも多いイクメンでもある

2011年、近江八幡市新町の八幡掘沿いにオープンしたショールーム「Atelier Key-men (アトリエ キーメン) 船着場」には、やわらかな明かりを灯す銅製の照明が並ぶ。「私が目指す照明器具は、空気に色をつける道具であること。家族で食事したり本を読んだりする中で大切な何かを見つけてほしい。そしてその明かりは安全なものでなければなりません」と電気工事士でもある顔をのぞかせる。

県立八幡工業高校電気科を卒業後、電気工事の仕事に就いた。子どもの頃からインテリアに興味があり、中学生の時には自室の壁を塗り替えたほど。現場でも美しい仕事にこだわり、一般住宅や店舗などの現場で電気工事士として働いた。管理や見積もり、営業など一通りの仕事を覚えていく中で、仕事の受注が見積もりの安さで決まりがちなこと疑問を感じた。「お客さんから直接依頼を受ける電気屋になりたいと思いました。その気持ちを伝えるためには、自分のセンスを目に見える形で示そうと考えました」



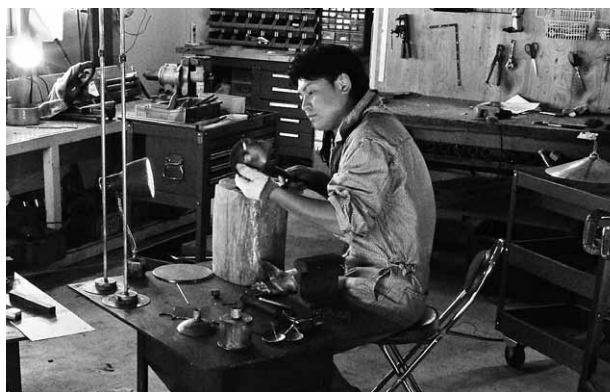
銅を使った照明器具の数々

表現方法として選んだのは銅を使った照明作り。最初は曲げたり接着したり形を作るための方法の研究から始まった。試行錯誤を繰り返して独自の作り方を考案した次は製造販売の許可をして電気用品安全法（PSE）のクリアは絶対だった。分厚い本を取り寄せ1年間の猛勉強の末、05年経済産業局から個人で取るのは難しいと言われる電気用製品製造許可と独自の電気部品組込方式で特許を取得した。

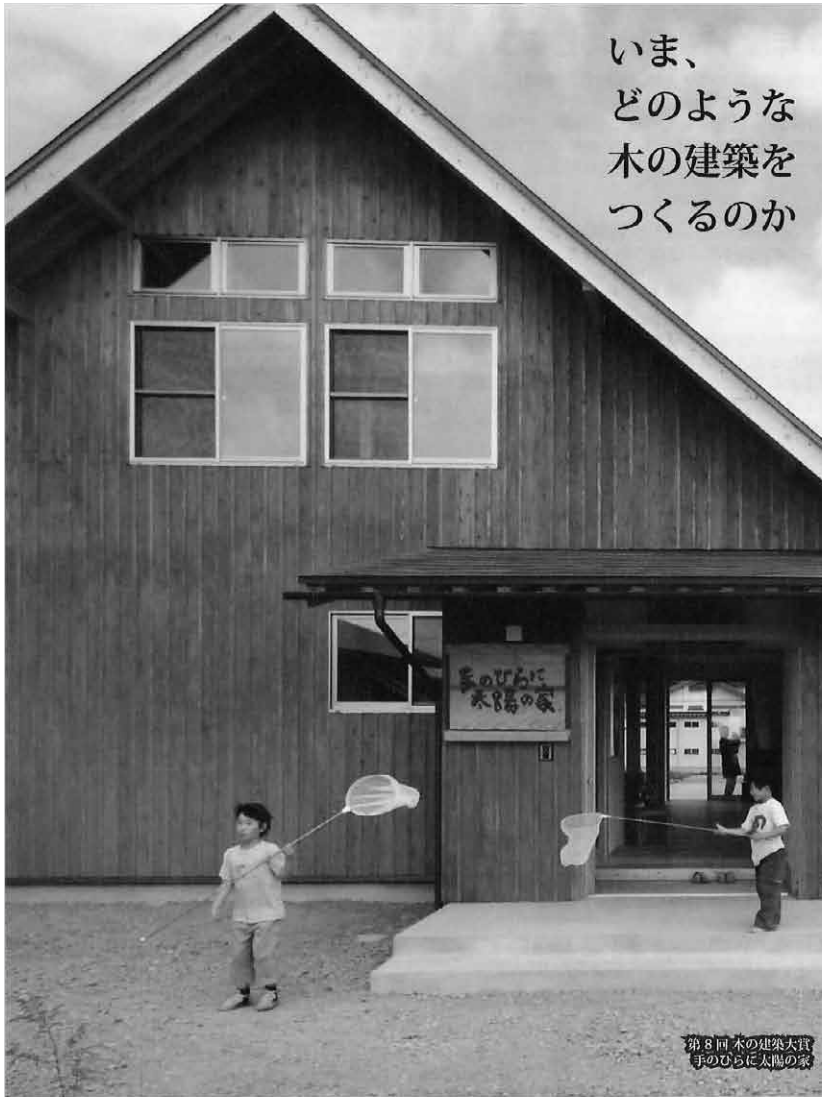
「06年に独立して東近江市に工房を構え、アトリエ キーメンを起業しました。まずはPRのために個展を開こうと作品を風呂敷に包んで大阪行きの電車で飛び乗りました。何の当てもノウハウもないんですから門前払いは当然。しかし出会いに恵まれて神戸、愛知、東京で個展を開くことができました」。07年には近江八幡市の古民家を改装した複合ショップ「尾賀商店」をプロデュース。自身も店舗に参加し、マスコミにも多く取り上げられ徐々に仕事が増えていった。

現在はショールームと工房を拠点にオーダーメイドの製品作りと取り付けが主な仕事。照明器具の他にも、鏡、机、手洗い器、ポスト、門柱と、お客さんのニーズに応えるうちにももの作りの幅は広がり、リフォームや照明演出なども手がける。デザイナーとしての個展開催や招待作家として琵琶湖ビエンナーレ2012にも参加した。「肩書を聞かれると、何と答えていいのかわからない。取材を受けた時は好きなように書いてくださいと言っているくらい」と笑う。思い描いた夢が現実となり充実した日々を送りつつもさらなる展開に望む「今生きながら感じることを、訪れるチャンスに挑戦しながら自分自身のキャパを広げていきたい。だからこれが職業ですというのは50歳までは決めないでいきます」と話した。

(取材：M. Y)



工房で制作に取り組む村井さん



いま、
どのような
木の建築を
つくるのか

第8回木の建築大賞
手のひらに太陽の家



第8回NCN木竹構造賞
東北大学大学院環境科学研究科エコロボ
(特別協賛・株式会社エヌ・シー・エヌ)



第8回日本集集成材建築賞・スパンパースフォイス賞
水の町屋 七口町御殿
(特別協賛・日本集成材工業協同組合)



第8回中国木竹のハイブリッド建築賞
国際教養大学カフェテリア増築棟
(特別協賛・中国木材株式会社)

第9回 木の建築賞

2013年度 近畿・中部地区

応募書類受付期間 2013年7月8日(月)～2013年8月16日(金)

「いま、どのような木の建築をつくるのか」というテーマの解釈は、それぞれの取り組みによって異なります。

「作品」であれば、人々に快適な場を提供する、建築デザインと空間構成、環境に対する考え方、それらを支える技術、その建築の持つ社会性などがあげられ、「活動」であれば、森林の育成に結びついた木材の利用、品質向上に関する技術開発とシステムの構築、伝統技術の継承、木の持つ良さを社会にアピールする運動や、活動を通じての社会への貢献などがあげられるかもしれません。

「木の建築賞」は、このような観点から木に関心のある人たちに応募を呼びかけ、優秀な作品・活動を顕彰することにより、木造文化の向上に寄与することを目的としています。

いま、どのような木の建築をつくるかをともに考えませんか。

主催：NPO 木の建築フォーラム

協賛：NPO 木の建築フォーラム会員有志、特別協賛団体ほか

協力：京都造形芸術大学環境デザイン学科



第8回木の住宅賞
岩室の家



第8回選考委員特別賞
越後杉による川上から川下までを繋いだ「地産地消の家づくり」

国土交通大臣表彰受章報告

このたび、平成25年度建設事業功労国土交通大臣表彰を本会会長山本勝義氏、副会長井島均氏が受章されました。

両氏はいずれも携わる建築設計の業務に精励するとともに、関係団体役員として建設業界の発展に寄与したことが認められ今回の受賞となりました。



山本勝義会長



井島 均副会長

女性委員会

2013びわこペーロン大会 応援お願いします！

昨年、初参戦しましたびわこペーロン大会は、ゲリラ豪雨に見舞われ、大会行程が短縮されたため、不完全燃焼に終わりました。記録でなく、記憶に残るレースでしたが実力発揮とまではなりませんでした。

というわけで、2013びわこペーロン大会 10人漕ぎ 女子の部に参戦いたします。チーム名は「ゴーゴー! 女性建築士☆」です。滋賀県建築士会のPRと会員相互の親睦をはかり、有意義な夏の日としたいと思います。皆様、応援をよろしくお願い致します。

日 時：平成25年8月10日(土) 8:00~17:00 予備日：8月11日

場 所：大津湖岸なぎさ公園サンシャインビーチ

女性委員会

平成25年度 第23回全国女性建築士連絡協議会 参加報告

●全体報告

7月13日~14日、東京建築会館において、第23回全国女性建築士連絡協議会が開催されました。滋賀県からは5名が参加、総参加者数300名を越える盛大で活気ある協議会となりました。

初日の基調講演には建築家集団「日本住改善委員会」を組織し生活に密着した住まいづくりやリフォームを多数ご提案されている天野彰氏を迎え、「江戸に学ぶ狭楽しさ」をテーマに、楽しいながら気づきの多々あるご講演をいただきました。

引き続き、日本建築士連合会女性委員会が窓口となり各都道府県建築士会に所属する建築士を対象に実施した「高齢者・障害者の居宅サービスの受給に適した住宅事例調査」の進捗状況報告、兵庫県、鳥取県からは活動発表、また、「被災地における現状と取り組み」として、岩手県、宮城県、福島県、長野県から発表がありました。再建支援制度に阻む公と私の境界、望まぬ防潮堤計画に戸惑い置き去りとなる住民の心、ハード面、ソフト面でまだまだ終わりの見えない被災地の様子を痛感しました。

2日目は、A~Hの分科会に分かれて、活発に討論し合いました。今回は、E分科会「景観まちづくり」で、我が滋賀県建築士会女性委員会から柴山さんがコメンテーターとして活動報告されました。それらの成果として、以下のアピールが永井委員長から発表され、閉会となりました。

1. 私たちは、今回の協議会を通して、女性建築士として、地域に根付いた活動を行い、次世代を担う子ども達や、生活の礎を築いてこられた高齢者にとって、安全で安心できる暮らしを提案します。
2. 私たちは、今回の基調講演を通して、専門家及び生活者としての視点から、それぞれの地域での未来の暮らしを見据えた「地域と共生する住環境づくり」を目指します。
3. 私たちは、継続して行ってきた東日本大震災の被災者からの報告を生かし、支援ネットワークの有効性や、防災についての知識や環境づくりの情報を公開し、同時に次世代の環境を守るため、低エネルギーの構築を目指します。
4. 私たち建築士は、異業種の専門家との連携の重要性を認識し、地域団体、企業、行政等の専門家と協働して、誰もが暮らしやすい社会の実現を目指し、諸活動を実践します。

(M. I)

●分科会参加報告

2日目の分科会は、E分科会「景観まちづくり」に参加しました。

和歌山県建築士会の仲谷氏の司会のもと、滋賀県建築士会 柴山直子さん・富山県建築士会 徳田義弘さんをコメンテーターとして迎え、お二人のまちづくりに関わる活動報告をしていただきました。

最初に「滋賀県大津市における景観まちづくりの取り組み」について柴山さんから報告がありました。柴山さんは建築士会の会員ですが、あくまで町家に住む建築士としてこの活動に関わられています。平成17年に 大津百町の町家再生研究会を発足、地元住民・町家居住者・建築士・大学教授、学生らをメンバーとし、京町通り（旧東海道）を重点エリア、基本理念「曳山と祭ちょうちんが似合うまちなみ」を掲げ、町家再生・利活用に向けた活動を行っています。出前ワークショップ・町家利活用プロジェクト会議・大津市百町市・市民フォーラム等、行政・住民を交えたその活動は、多岐にわたります。その苦労話と実績を報告いただきました。

次に「高岡の建築とまちづくり」について徳田さんから報告がありました。徳田さんは建築士会支部活動として高岡のまちづくりに関わられています。高岡の「土蔵造りの町並み」を残そうという活動を30年間続け、昨年は まちづくり大賞を受賞されました。

活動報告として、7基の御車山の実測調査、地元住民や大学生・行政を交えて「土蔵のある町並みワークショップ」、高岡の1/1000都市模型制作についてのお話をいただきました。

質疑応答や意見交換では、地元住民や行政との関わり方・手法についての意見が多数ありました。

お二人とも、住民として・建築士会としてと 異なった立場でまちづくりに関わっておられますが、どちらにも共通したキーワードは「祭り」でした。昔からの地元のお祭りが、人と人とをつなげ、そしてまちを形成していく何かを持っている と感じました。

(S. O)



基調講演「江戸に学ぶ狭楽しさ」



参加者集合写真



分科会会場の様子と報告する柴山さん

訃報

公益社団法人滋賀県建築士会 大津地区 会員 大野 豊様が去る平成25年6月29日（享年88歳）ご逝去されました。大野 豊様は、昭和40～43年副会長、昭和44～49年顧問、昭和50～59相談役を永年を務められ会の発展にご尽力されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

国交省よりお知らせ

建築基準法違反のある「違法貸しルーム」に係る建築士の関与について

オフィス、倉庫等の用途に供していると称しながら多人数の居住実態がある建築物や、マンションの住戸又は戸建住宅を改修して多人数の居住の用に供している建築物が、複数の特定行政庁で確認されています。国土交通省では、これらの建築物が建築基準法の防火関係規定違反等の疑いがあることから、必要な情報を収集するとともに、特定行政庁に対して、物件に関する情報収集や調査、違反物件の是正指導等を行うよう要請したところ。建築士が、建築基準法違反のある物件（以下、「違法貸しルーム」という。）について、設計・工事監理等を行った場合には、建築士法第10条に基づく懲戒処分の対象となることがあります。また、違法貸しルームの疑いがある建築物に関する情報を入手した場合には、特定行政庁へ情報提供されるよう、お願いいたします

地域貢献活動センター委員会

建築士が参画する 地域貢献活動助成金 申請グループ募集のお知らせ

滋賀地域貢献活動センターは、建築士と共にまちづくり、地域活動をしている、またはしようとしているグループに活動費の助成や、技術・情報などの支援をしています。

詳しくは公益社団法人滋賀県建築士会までお問い合わせ下さい。

TEL : 077-522-1615 FAX : 077-523-1602

8月の暦

1	木	赤口		12	月	赤口		23	金	大安	
2	金	先勝	女性委員会全体会議、Do64	13	火	先勝		24	土	赤口	
3	土	友引		14	水	友引		25	日	先勝	
4	日	先負		15	木	先負		26	月	友引	
5	月	仏滅	青年委員会	16	金	仏滅		27	火	先負	
6	火	大安	総務企画委員会	17	土	大安		28	水	仏滅	
7	水	先勝		18	日	赤口		29	木	大安	
8	木	友引		19	月	先勝		30	金	赤口	
9	金	先負		20	火	友引	第3回理事会	31	土	先勝	
10	土	仏滅	びわ湖ペーロン大会	21	水	先負					
11	日	大安		22	木	仏滅					

足のむくまま 近江再発見 日吉大社 大宮橋(大津市坂本)

某スピリチュアルカウンセラーがパワースポットとして絶賛したこともある大宮橋であるが、実際に訪ねてみると、パワースポットなんて俗っぽい言葉では片付けられない、神々しい独特の雰囲気を堪能することができる。そんな神聖な場所であり、貼紙もあるにもかかわらず、大宮橋のたもとで子供達を川遊びさせていた家族が3組ほど居た。大変残念な光景であった。

